

めるへん 街角の童話

第9章

★構成・演出…麻創けい子



「春ちゃんの古家（フルハウス）」

脚本／梶田明子

「ありがとうの行方」

脚本／かとうのりこ

「よりちゃんを捜して」

脚本／北野和恵

観るラジオドラマ
何げない日々、
3つの小さな奇跡が
明日を変える。

はぐはぐ☆カンパニー
プロデュース

7月

3

4

5

6

2025

〈木〉
18:30
15:00

〈金〉
11:00
15:00

〈土〉
11:00

〈日〉
13:00

【会場】 損保ジャパン人形劇場 ひまわりホール
名古屋市中区丸の内3-22-21 損保ジャパン名古屋ビル19F

【料金】一律 3,000円

※日時指定・自由席・未就学児入場不可
※開場は開演の30分前



『春ちゃんの古家(フルハウス)』／梶田明子

母が亡くなり空き家になった実家をどうするか、話し合うために集まった田島家の三姉妹。相談の末取り壊すことにするのだが、もう一人、反対する者がいた。この家に住み着いている座敷童の春枝だ。春枝は三人の姉で、生まれて間もなく亡くなっていたのだ。取り壊されでは居場所が無くなると嘆くが、生者にその声が届くはずもない。と、そこへ、この家を借りて学童保育所を開きたいという女性が現れる。三姉妹の出した結論は…。

『ありがとうの行方』／かとうのりこ

八十代になった母の思い出作りにと温泉旅行を思い立つ息子だが、口の悪い母は、礼を言うどころか旅先では文句ばかり。孫娘、玲那の提案で、ありがとうの言葉を手紙に書いたものの、手違いから旅館の部屋の冷蔵庫に置き忘れてしまう。旅から帰った翌朝、早起きした老母が、家族のために朝食を作っていると、玲那の恋人のケンジが、携帯の繋がらないことを心配して訪ねてくる。老母の「ありがとう」は、家族に届くのだろうか。

『よりちゃんを捜して』／北野和恵

「よりちゃんて、二号さんなの?」 幼い頃死に別れた母の面影をより子に重ねていたヒロ子は、自分の不用意な言葉で彼女を傷つけ、町から追いやったことを、後悔し続けていた。そんなある日、伯母のエリ子の話から、より子が近くの町で本の読み聞かせをしていることを知る。再会したより子が語ったのは、戦時下の、報われなかつた恋の話だった。そのより子がヒロ子のために本を読む。それは、ヒロ子の母が書き残した絵本だった。



亀子祐美

劇団I&I
てとてと演劇部



川瀬邦成

劇団エーアンドエーダッシュ



川村博信

フリー



小嶋彩子

劇団エーアンドエーダッシュ



鈴木幾子

夢みるペンギン



水野詩織

フリー



光本基江

夢みるペンギン



森本恵美子

てとてと演劇部



山口未知

劇団B級遊撃隊



LEO

フリー



呂智廣

フリー



W キャスト

川瀬邦成

3日(木) 18:30
4日(金) 11:00~、15:00~
LEO

5日(土) 11:00~、15:00~
6日(日) 13:00~

会 場

◆地下鉄久屋大通駅 1番出口から西へ徒歩5分
◆地下鉄丸の内駅 4番出口から東へ徒歩6分



お問い合わせ・お申し込み

毎回、ほぼ満席をいただいております。ご予約はご早めに。

下記にお申し込みください。

チケットの受け渡し、代金のお支払い方法について、ご連絡を差し上げます。

鈴木／携帯TEL 090-1747-0428
engeki-roudoku-butai@au.com

光本／携帯TEL 090-9945-1918
moto55@yk.commufa.jp

※駐車場はございません。公共交通機関をご利用下さい。